



代表取締役会長  
大木島 巖

代表取締役社長  
蛇川 忠暉

**日野自動車**の2002年3月期の業績は4期ぶりに営業利益、当期純利益の利益段階で黒字を計上することができました。これは過去3年間、日野グループ全社・全員一丸となって積極的な構造改革を実行し、コスト競争力強化ならびに財務体質の改善を図ってきた結果であります。当社は、創立60周年を迎える2002年度を“攻めの経営”に転換する年度と位置付けております。2004年度までの3ヶ年中期経営計画において、長期化する厳しい経営環境下においても収益をあげることでできる強固な経営体質の確立・定着を図り、2004年度売上高9,300億円、営業利益400億円を目標としております。また、「日本商用車市場において圧倒的No.1の地位の確立」、「世界で5指に入るレベルへの飛躍」及び「収益・販売台数・シェアの三立」を目指し、世界の商用車市場で『存在感のある企業』となるため、すなわち日野ブランドの確立のため、努力していく所存でございます。



## 日本市場での基盤の強化

中期経営計画を達成するための絶対条件は日本市場での基盤の強化です。当社のコア・ビジネスであるトラック事業を再構築し、ホームマーケットをまず固めていきます。

2001年12月、12年ぶりにフルモデルチェンジした新中型トラック「レンジャープロ」を軸に、大型トラックも含めた販売・サービスの強化と、コスト競争力強化による収益改善を推進しております。

さらに、販売会社の収益構造の改善を支援し、バリューチェーンの構築・強化を図るとともに、内外のビジネス協業によるリソースの『選択と集中』を図り、日本市場で圧倒的No.1を目指します。

小型トラック事業については、お客様の上物架装ニーズの多様化に応じるため、架装メーカー依存からの脱却を図る必要から、車台メーカー独自の上物に関する提案や自社工場での上物架装を一部手掛けます。

そして、大・中・小型トラック事業の三立を目指しております。

## 低コスト体質の構造的定着

日野自動車は、世界の5指に入る存在感のある企業になるためには、どのような経済状況においても収益を出せる体質・体力を強化する必要があります。このためには、一段と商品・品質・リードタイム・価格面での国際競争力をつけることが必須となります。

当社は新たに、「HCC21活動」と名付けた適正品質の確保と原価低減の活動を展開し、グローバルなベンチマーキングによる戦略目標値の設定、内製部品・外製部品・海外調達部品等の品目別目標の実現に、設計・生産技術・工場・仕入先など全社活動を展開しています。

また、目先の課題にとどまることなく、当社の関連仕入先の根本的経営体質を改善し、海外生産においては、海外の現地調達部品の比率を大幅に引き上げるなど、国際競争力強化を図る所存です。

## グローバル戦略の推進

中期経営計画達成のための次なる必須条件は東南アジアと北米を中心とする海外展開です。

東南アジアの事業基盤の強化を図るため、トヨタグループの総合力を発揮して生産・販売拠点の収益基盤を早急に改善し、部品の現地調達比率を大幅に引き上げることでより価格競争力を強化し、東南アジア及び近隣市場で販売していきます。

北米市場については、現在、年間2,000台のキャブオーバータイプの中型トラックを完成車輸出・販売しておりますが、総需要の90%を占めるコンベンショナルタイプのトラック市場に本格参入すべく、北米専用車の導入と現地生産を開始する予定で推進中です。また、販売ネットワークの拡大、サービス体制の拡充についても新たに再構築します。

## 環境技術への取り組み

21世紀に入り、企業にとって地球環境への取り組みは、益々重要になってきています。当社はトラック・バス業界のトップランナーとして、排出ガス規制対応をはじめとする環境対応を最重要課題として取り組んでいます。

2005年には、日本及び欧州でディーゼル車の排出ガス規制が大幅に強化されることが決まっており、当社はこの規制値をクリアするため、新エンジンの開発や排出ガス浄化システムの実用化を、他社販売も視野に入れ、実現させます。また、当社は「日野自動車環境ボランティアプラン」に沿って、製品技術面では超低公害車の開発、生産環境面では廃棄物低減・省資源化の推進等の諸課題に積極的に取り組んでおります。

## ビジネス協業への取り組み

他社とのビジネス協業の取り組みといたしましては、国内では、いすゞ自動車株式会社とのバス事業に関し、2003年10月を目処にバス製造合弁会社を設立する方向で合意いたしました。また、日産ディーゼル工業株式会社に対し、2004年より中型クラスエンジンを供給することで合意いたしました。さらには、スウェーデンの大型トラック・バスメーカーであるスカニア社との間で、商品の相互補完及び環境技術面での交流を図ることを目的とした協業合意に至りました。

## さらなる成長に向けて

当社グループは「生まれ変わります! お客様の目線で 明日へ 世界へ RENEW HINO!」をスローガンに、グループ丸となり「世界の商用車市場で存在感のある企業」を目指してまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2002年8月

代表取締役会長

大木島 巖



代表取締役社長

蛇川 忠暉

